

財務諸表に対する注記

1 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券は、償却原価法（定額法）を採用している。

(2) 固定資産の減価償却の方法

定額法による減価償却を実施している。

(3) 引当金の計上基準

賞与引当金・・・賞与の支払いに備えて、賞与支給見込額の当事業年度負担額を計上している。

退職給付引当金・・・退職給付に備えるため、自己都合期末要支給額を計上している。

(4) キャッシュ・フロー計算書における資金の範囲

資金の範囲 資金の範囲には、現金及び現金同等物を含めている。

(5) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込み方式によっている。

2 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	32,000,000	0	0	32,000,000
投資有価証券	50,000,000	0	0	50,000,000
小 計	82,000,000	0	0	82,000,000
特定資産				
退職給付引当資産	266,479,566	14,608,344	31,852,152	249,235,758
減価償却引当資産	53,513,288	10,344,224	0	63,857,512
いきがい振興積立資産	207,891,263	118,105,558	118,105,558	207,891,263
県民活動総合センター事業 推進積立資産	58,661,338	3,272,697	0	61,934,035
シルバー人材センター運営 基盤強化積立資産	4,392,034	0	4,392,034	0
新規企業開拓・会員確保・ マッチング促進積立資産	6,334,000	5,952,959	6,334,000	5,952,959
小 計	597,271,489	152,283,782	160,683,744	588,871,527
合 計	679,271,489	152,283,782	160,683,744	670,871,527

3 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)		
		(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
定期預金	32,000,000	(32,000,000)		
投資有価証券	50,000,000	(50,000,000)		
小 計	82,000,000	(82,000,000)	(0)	(0)
特定資産				
退職給付引当資産	249,235,758			(249,235,758)
減価償却引当資産	63,857,512		(63,857,512)	
いきがい振興積立資産	207,891,263		(207,891,263)	
県民活動総合センター事業 推進積立資産	61,934,035		(61,934,035)	
新規企業開拓・会員確保・ マッチング促進積立資産	5,952,959		(5,952,959)	
小 計	588,871,527	(0)	(339,635,769)	(249,235,758)
合 計	670,871,527	(82,000,000)	(339,635,769)	(249,235,758)

4 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
車両運搬具	4,100,000	1,328,923	2,771,077
什器備品	99,870,727	61,965,099	37,905,628
ソフトウェア	24,928,665	23,652,876	1,275,789
電話加入権	1,017,688	0	1,017,688
合 計	129,917,080	86,946,898	42,970,182

5 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位：円)

種類及び銘柄	帳簿価額	時価	評価損益
平成26年第1回彩の国みらい債	10,000,000	9,998,510	△ 1,490
平成26年第2回彩の国みらい債	10,000,000	9,993,820	△ 6,180
平成27年第1回彩の国みらい債	10,000,000	9,986,400	△ 13,600
平成30年第4回埼玉県公募債	10,000,000	10,170,440	170,440
平成30年第8回埼玉県公募債	10,000,000	10,083,040	83,040
第7回埼玉の川・愛県債	10,000,000	9,995,630	△ 4,370
185回共同発行市場公募地方債	10,000,000	10,191,860	191,860
合 計	70,000,000	70,419,700	419,700

6 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
補助金						
高齢者就業機会確保事業費等補助金	厚生労働省	0	7,729,000	7,729,000	0	
雇用開発支援事業費等補助金	厚生労働省	0	15,000,000	15,000,000	0	
シルバー人材センター連合事業費補助金	埼玉県	0	10,900,000	10,900,000	0	
シルバー・ワークステーション事業費補助金	埼玉県	0	23,283,872	23,283,872	0	
シルバーわが街イテオン事業費補助金	埼玉県	0	686,000	686,000	0	
高齢者活動支援事業費補助金	埼玉県	0	68,728,000	68,728,000	0	
彩の国いきがい大学事業費補助金	埼玉県	0	6,766,000	6,766,000	0	
彩の国プラチナフェスティバル開催費等補助金	埼玉県	0	713,000	713,000	0	
助成金						
都道府県シルバー連合助成事業助成金	(公社)全国シルバー人材センター事業協会	0	1,174,000	1,174,000	0	
芸術文化振興基金助成金	(独)日本芸術文化振興会	0	167,000	167,000	0	
合 計		0	135,146,872	135,146,872	0	

7 埼玉県との取引の内容

埼玉県との取引の内容は、次のとおりである。

(単位：円)

取引の内容	取引金額	科目	期末残高
シルバー人材センター連合事業の実施	10,900,000	地方公共団体補助金収入	0
シルバー・ワークステーション事業の実施	23,283,872	地方公共団体補助金収入	0
シルバーわが街イテオン事業費補助金	686,000	地方公共団体補助金収入	0
高齢者活動支援事業の実施	68,728,000	地方公共団体補助金収入	0
彩の国いきがい大学事業の実施	6,766,000	地方公共団体補助金収入	0
彩の国プラチナフェスティバル事業の実施	713,000	地方公共団体補助金収入	0
全国健康福祉祭選手団選考・派遣事業の実施	3,669,361	地方公共団体受託事業収入	0
県民活動総合センターの管理運営	250,710,000	地方公共団体受託事業収入	0
NPO活動促進助成事業の実施	5,799,600	地方公共団体受託事業収入	0
いきいきボランティア養成講座の実施	4,767,000	地方公共団体受託事業収入	0

取引条件の決定…受託事業については随意契約によっている。

8 キャッシュ・フロー計算書における資金の範囲及び重要な非資金取引

(1) 現金及び現金同等物の期末残高と貸借対照表に掲記されている金額との関係は以下のとおりである。

(単位：円)

前期末		当期末	
現金預金勘定	305,054,505	現金預金勘定	333,507,634
預入期間が3か月を超える定期預金	—	預入期間が3か月を超える定期預金	—
現金及び現金同等物	305,054,505	現金及び現金同等物	333,507,634

(2) 重要な非資金取引はない。